

2026 Wakayama Autumn Regatta

レース公示 (Notice of Race)

期 間 2026年10月10日(土)～10月11日(日)
場 所 和歌山県和歌山市 和歌山セーリングセンター

共同主催 和歌山県セーリング連盟・日本ウインドサーフィン協会
協 力 NPO法人和歌山セーリングクラブ
協 賛 各社予定

1.規則

本レガッタにはセーリング競技規則(以下「RRS」とする)に定義された規則が適用される。

2.広告

主催団体は各競技艇に対し大会スポンサーの広告を艇体に表示するよう要求する場合がある。

3.競技種目

テクノ293クラス、
ワールドマスターズクラス(ウインドサーファークラス)

4.参加資格

- 4.1 2026年度日本セーリング連盟会員の者。
- 4.2 2026年度日本ウインドサーフィン協会会員の者。
- 4.3 テクノ293クラスは、各地の予選会で選抜された選手100名とする。
- 4.4 [参加申込書](#)に必要事項を記入のうえ、申し込みをすること。
申し込み締め切りは、2026年9月25日(金)23:59までとする。参加料の振込確認をもって参加受付完了とする。
なお、サポートボートを使用する場合は、サポートボートの登録を大会受付で行うこと。
- 4.5 **申し込み締め切り後、セール番号の変更を一切認めない。**

5.参加料

- 5.1 10,000円／艇 (10/10～10/11のハーバー使用料を含む)
- 5.2 参加料は下記指定口座に指定日までに選手名で振り込むこととする。(振込手数料は各自ご負担ください。)
送金口座 紀陽銀行 和歌山市役所支店 普通 390999 和歌山県セーリング連盟
- 5.3 **参加取消に伴う納入金については、参加申込期限日までの取消については返金する。ただし、振込手数料を差し引いた額とする。参加申込期限日後の取消については、返金しない。**

6.レガッタフォーマット

- 6.1 最大8レースを行う。
- 6.2 最終日の15時以降に予告信号を発しない。
- 6.3 1レースの完了で本大会は成立する。

7.日程

10月10日(土)	
08:30～09:20	大会受付
09:20	開会式・艇長会議
10:25	最初のクラスの 1日目第1レースの予告信号 引き続きレースを行う。
10月11日(日)	最初のクラスの 2日目最初のレースの予告信号
09:25	引き続きレースを行う。 閉会式、表彰式
17:00(予定)	

8.計測

- 8.1 大会期間中に、陸上、海上を問わず計測が行われることがある。
- 8.2 [DP]損傷または紛失した装備品の交換はレース委員会の書面による承認がなければ許可されない。なお、損傷

または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のレース委員会によって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にレース委員会の書面による承認を得なければならない。

- 8.3 参加選手はセイルナンバーをWCR付則Gおよびセイルナンバーについてのルールと解釈 例についてと、JWAのセイルナンバー規定のとおり表 記するものとし、これに違反した選手は WCR77 のとおり本大会に参加することができない。大会参加後に表記違反が確認された場合は、本大会の全てのレースを DNC とされる。

9. 帆走指示書

- 9.1 帆走指示書は10月3日までに大会WEBサイトで公開する。
9.2 帆走指示書への質問は10月7日までに大会事務局にメールで行うこと。回答は個別または公示にて行う。

10. 開催地

和歌山ナショナルトレーニングセンター(和歌山セーリングセンター)及び和歌浦湾

11. コース

ウインドワード・リーワードを予定する。詳細は帆走指示書に示す。

12. 得点

- 12.1 (a) 完了したレースが3レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。
(b) 完了したレースが4レース以上の場合には、最も悪い得点を除外した合計得点とする。これは付則A2を変更している。

13. [DP]安全

- 13.1 海上では常に適切な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。 ウェットスーツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。救命胴衣(ライフジャケット)は、ISO12402-5、レベル50又は同等の基準に従うとともに、体重にあったサイズを着用すること。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これはRRS40を変更している。

14. 支援船

- 14.1 支援船はレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。
a) [DP]参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇は認められず、乗艇者数を2名以上、定員の1/2以下と制限する。
b) [DP]支援船はレース委員会が支給する『ピンク色』旗を掲揚しなければならない。
c) 常時は支援船として航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。[DP]
d) ハーバーに対する搬入手続きおよびハーバー使用料支払いは、各自で行うこと。
e) 支援船は、ヨットモータボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険を含む)に加入していなければならない。
14.2 海上でレース委員会から支援船への支援要請は、レース委員会艇に『ピンク色』旗を掲揚して通告する。
14.3 支援船の運行についてレース委員会の指示に従わなかった場合は、運行の停止を命じることがある。加えて支援艇が関与する選手に罰則が与えられる場合がある。

15. 賞

各クラス男女を表彰する。ただし、参加艇数により、表彰する艇数を決める。

16. リスク・ステートメント

RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

17. 大会事務局(参加申込先、大会問い合わせ先)

和歌山セーリングセンター 営業時間9:00~17:00 火曜日定休日
〒641-0014和歌山市毛見1514番地

E-mail: info@wakayama-sailing.org (メールでの申し込みと問い合わせに限る。)
大会WEBサイト(和歌山セーリングクラブホームページ内) <https://wsail.jp/>

添付1図「レース・エリア」

